
愛のしるし

NAoK ICHI

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛のしるし

【Zコード】

Z2141D

【作者名】

NAOKICHI

【あらすじ】
ねえ、好きって言つてよ・・・私は好きなの、大好きなんだよ。

ねえ、好き？

私のこと・・・好きって言いつてよ・・・
いつまで待つたら、聞ける？

答えてよ・・・

・・・ねえ、私のことどう思つてるの？

半年前

「・・・好き・・・なの。」

なかなかでなかつた声を振り絞つてやつとの想いで告白をした
その日は返事をくれなかつた

2日後、友達がメールして「一応、OK」って返つてきた
「好きなの？」って聞いても
「たぶん・・・あいまいで」めんめん（――）
・・・そんなんじゃ納得できるわけないじゃん
みんなが付き合つてゐるって言つてたし、たぶん・・・付き合つてゐ
んだろうな

そのあと、何度も手紙を書いた

「好き？」とか「部活ないときどこかに行こりうね
でも結局返つてこなかつた
わかつてたけど・・・どこか、期待してゐる自分がいた

どこか行つたら絶対にお土産を買つて渡した
ちょっとはどれくらい好きなのかわかつてほしかつた
たぶん、何もわかつてくれないんだろうけど。

重いの・・・かなあ？

毎日が不安でしょうがないよ・・・・・・・・・・

付き合つてから半年たとうとしてるのー、こまだー・・・・・・・・・・
教えてくれなかつた

「シャイだからじょうがなこよー」

富田が不器用つてことぐらに知つてるよ
でも私だつてもともと自分から行くタイプじゃないけど、それでも
好きだから頑張つてるのに・・・
なんで、こつも氣づいてくれないの？

半年記念だから、今の気持ちを全部、ノートに書いた

「一緒に、帰ろう・・・・・」

何も言わずにこくんどうなずこてくれた

「じや、あとでねつーーー」

家なんて校門を出た瞬間から反対だけど、別によかった一緒にいれるのが嬉しかつたから・・・
私が富田を送つてつた
みんなには「変だよ、普通逆だよね？」って言われちやつたけど・・・
私は、会えただけで幸せな気分になれたの

話は普通にしていて、笑いあって
まるで・・・・・

仲のいい友達みたいだった

ノートは結局返つてこなかつた。

席だつてすごい近いのに、私から話しかけないと話せない
・・・こんなのは、絶対変だよ。
メールだつてしないし、話さないし、まるで・・・・・片思いじやん
いつまで片思いしたらいいんだろうね
誰か・・・教えてよ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「別れたいかもしれない。」

友達に言つたら、

「大丈夫だよ～、シャイなだけだつて！」

どうせ小さじことで悩んでバカみたいつてそれくらいわかってるよ
・・・・・・・・・・・・・

何かが違つ・・・・がちょっとずつ溜まつていつて、私は彼のこと好きなんだよね？

なぜかそこも疑問に感じてきてしまつた

帰ろう。

階段を降りたときそこに富田がいた

「わあっ！」

びっくりしてつい大きな声を出してしまつた
急に見るといつもいつ。

だつて・・・・びっくりしそうきて心臓とまつちゃいやつなんだもん

あ、びうじょう・・・

泣てもう。

なんて？

ねえ、私のこと・・・好き?

גַּם־בְּעֵבֶר

「ど、え? どーした? ? 大丈夫、どうか痛い? えつ」

「・・・え？ 富田が思つてることだが、わかんないよつ！！
なんで、私ばっかり！-すつごい、すつごい好きなのに・・・

「何も言つてくれないし、もう辛いだけだよ・・・・・！
気づいてないでしょ？ 一回も好きつて言つてくれたことないよ。
一緒にいてくれないのに付き合つてる意味なんてないよ！
いつまで片思いしたらいいの？」

好きだけど、そのままなんていや。

・・・でもね、恋する乙女はいつでも情調不安定なんだよ？

• • • • •

たぶん、私がこのまま何も言わなかつたら、1年だって簡単に迎えられると思う

でも余の批評で臆疑でもないの

「おお、小学校みたいになれるよ。」

中学生だつて、大人みたいな甘い恋がしたいんだよ

「・・・・・」

「・・・・・何も言つてくれないんだ。」

「もつこーよ

本当は「もつこーよ」なんて言わせないでほしかったなあ・・・
別れようか

次に出でくる言葉はそれしかない
でも、本当は好きなんだよ?
ずっと一緒にいたいんだよ?
何かが、次の言葉を出させまいと止めている

「・・・・」めん

「・・・・・どーゆつ意味での「」めん?」

終わつちやうのかな・・・

「・・・・。」

合わなかつたのかな?

私たち

「・・・・好き・・・・です。」

うつむいていた顔を思わず上げた
そこには赤面した富田が立つていた
嬉しくて言葉にならない
「・・・ふうえ・・・ふつ、うえ」
やつぱり、嬉しへつたつて泣こちやうよ・・・

急に顔が近づいてきて、おもわず

「え?」

「キス……しても……いいですか?」

「……はい。」

甘くつてとろけるような、キスだつた
学校つてことも忘れてた
ゆつくり田を開くと、彼は硬直してた
「大好き……」
「ぐんとうなずいてくれた

「でもさあ、普通、していい? って聞かないよ……
ふふつ、やばい! うけるわあ! あはははは」

「緊張してた……んだよつ」

私のほっぺをつまんで引っ張つた

「いひやい~」

ちょっとだけ私を睨む

・・・知つてる、富田つて究極に恥ずかしいとき私のこと睨むよね?
ばあーか。(笑)
・・・大好きだよ

恋をしたり、されたりつて素敵だね

何気ない日があなたがいるだけで輝いた口にしてくれる

隣にいる幸せを教えてくれてありがとう

あなたが嬉しかつたら、私も嬉しくなつちゃうし

あなたが悲しそうにしてたら、私も悲しくなつちゃう

結構、私の中はあなたかもしれないね……

2人で笑い合つてすゞしていく日々はいつまでも・・・・・・・・・宝物だよ

不器用な私たちだけど、

1年後も、2年後もあなたの隣で笑っているのはどつか、
私でありますように

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2141d/>

愛のしるし

2011年1月28日14時57分発行